

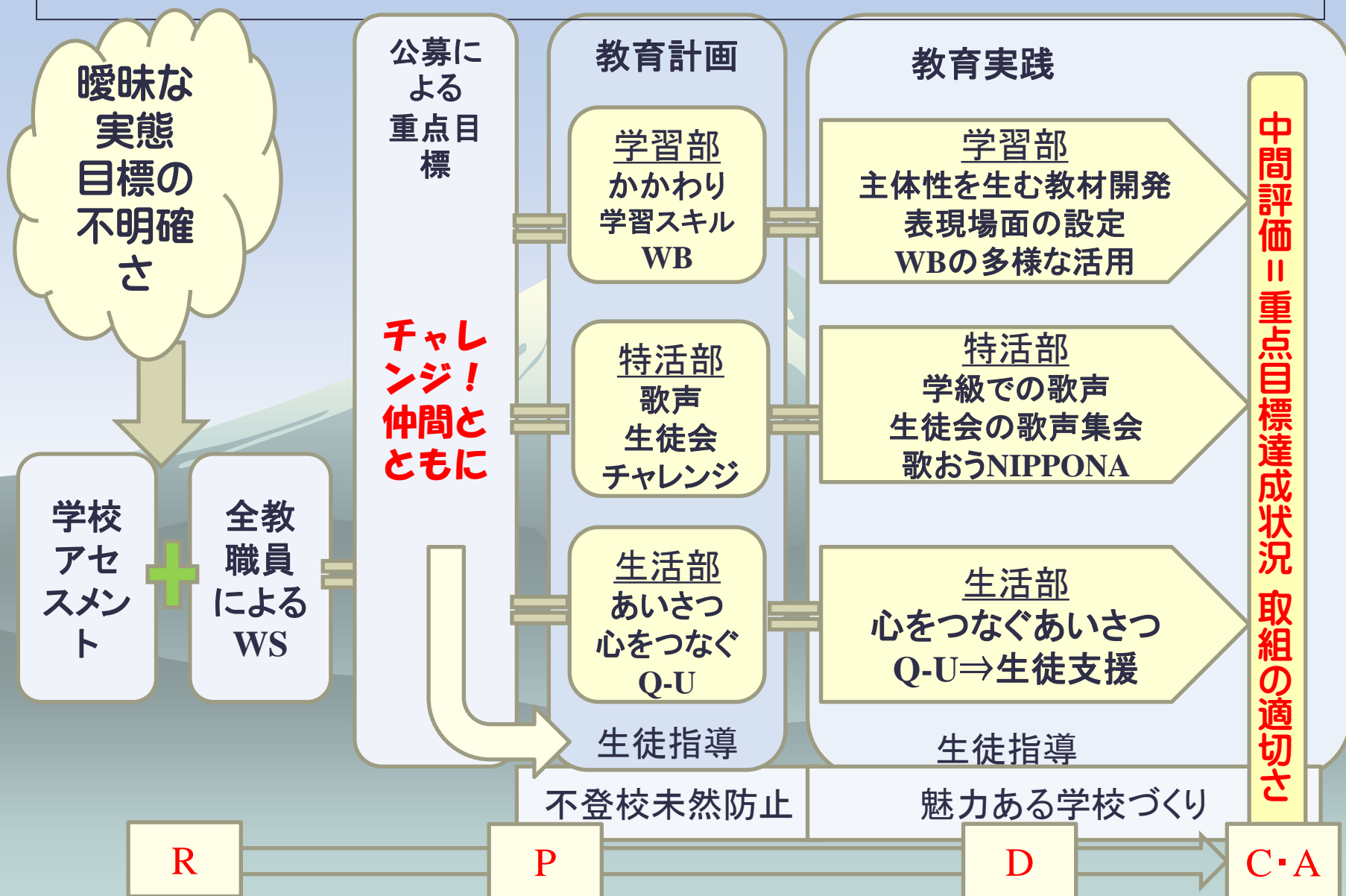


前期 (2010.11~2011.7)

A中学校の組織マネジメントの展開 ~チャレンジ！仲間とともに~

鳴門教育大学
教職大学院
久我直人

これまでの組織マネジメントの展開過程



昨年度の課題

△昨年度の課題

ノートに自分の考えを書いているが、
発表（自己表現）しない・できない生徒が多い
課題＝「人とかかわりながら学ぶ力」

<理由>

- ◇集団の中への埋没
- ◇失敗への恐れ

チャレンジ

安心

チャレンジ
仲間とともに

生徒の変容(6・7月)

○生徒の自然な自己表現

○教師の発問・指示への反応のよさ

<理由1>学習スタイルの生徒の認知

①自分の考えをもつ(個人)

②グループで練る(グループ); WBを使いこなす

③全体への表現(全体)

<理由2>T-Cの応答的な関係の構築(安心)

自然なCからの問いかけ

教師の問い返し(子どもの発言の受容と確認)

教師と生徒の応答的な授業風景への変容

チャレンジ
仲間とともに

教師の変容(チャレンジ)

○授業スタイルの変容

- ①チャレンジを生み出す学習課題・学習問題
- ②教室配置(コの字型, 扇型向き合う配置)
- ③受容的なCの受け止め
支援を必要とする子への個別の配慮
- ④グループ学習の有効活用
必要に応じたグループ学習の活用(not定型)
- ⑤生徒の発言を活用した授業づくり(WB)
(notチョークとトーク)

授業づくりの変化

第1の視座⇒第2, 3の視座

Ex) 数学の学習課題

教科書 ⇒ 動機を生む教材の開発

Ex) 社会科における表現力の育成とは？

教科の特性を活かす

⇒ 生徒の自ら学ぶを生み出す単元構成

Ex) 理科の教材開発

⇒ 教科書の内容の再検討

生徒の自ら学ぶチャレンジを生み出すTの腐心

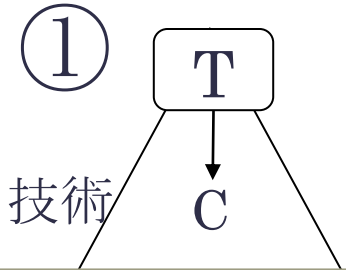
安心と信頼を築き、チャレンジを生み出す 3つの視座のバランスのとれた組織的指導

< 指示・教示⇒習得型 >

(T)

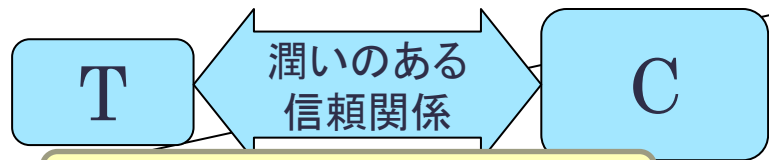
(C)

- (学習) 計算, 漢字, 実験器具の使い方・・・基礎知識・技術
- (学習・生活) 聞き方, 話し方, ...
- (生活) 基本的な生活習慣, 掃除の仕方, ...



分かりやすく教える

③



人対人として向き合う

子どもに対する人権感覚

**自ら学ばせる
自学・自律促進**

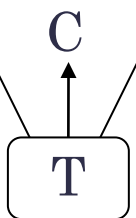
- (学習) 課題の自己設定, 問題解決学習, 学び合う集団・・・
- (学習・生活) 子どものアイデアを活かした学習, 活動, 生活
- (生活) 自律的な生活改善, 支え合う集団・・・

(T)

(C)

(T)

②



< 場の設定⇒自己決定⇒価値付け型 >

授業づくりの変化

第1の視座⇒第2, 3の視座

Ex) 英語のTT指導

ALT・生徒との応答的な問いかけのある授業

Ex) 国語のディベート; 対立を動機付けに活用
根拠に基づく表現をトレーニング

Ex) 英語; 自己と向き合わせる⇒振り返りシート

英語; お手玉⇒活動と言葉(英文)とをつなぐ

教材開発, 学習方法の工夫, 活動, 見通し・・・⇒応答的

生徒の自ら学ぶチャレンジを生み出すTの腐心

教師の実践的知識の交流

目標を「一」にした協働を通じたOJT型人材育成

<教科部会>; 研修風景の変容

◎生徒のチャレンジを生む実践的知識の交流

①交わされる互いの「教材観」(理科)

②「自ら学ぶ」を生むために開発した教材(数学)

③教科で育てる「表現力」

主体的な表現を生む単元構想(社会科)

⇒重点目標達成のために動員した互いの実践的知識を交流

生徒が書いたWBを媒介にした議論

職員室でのコミュニケーションの変容⇒文化へ

チャレンジ
仲間と共に

生徒達の変容(チャレンジ)

○生徒の自律的な歌声

(他律ではない声の響き)

○生徒の意志によるイベントの計画・準備・実施

「歌おう NIPPON in A」被災地への思い

○生徒会の意思決定

⇒学年としての受け止め, 主体的協働

⇒各学級としての自律的な取組

⇒保護者, 小学校を巻き込んでの成功経験

…自信, 自己効力感=「やればできる！」

チャレンジ
仲間と共に

生徒達の変容(安心)

◎心をつなぐ「あいさつ」

4月当初;形としての「あいさつ」

5, 6月;価値の内在化を促す「あいさつ」

・・・7月, 自然な会釈とあいさつ

⇒普段の生活, 朝・帰りの会での応答関係

語る教師⇒向き合って聞く生徒(not他律)

自然な質問, 意見を言う生徒の姿

◎Q-U・・・生徒の心を可視化するツール

⇒要配慮生徒への寄り添い

生徒のためのチャレンジ

『生徒のためのがんばり・チャレンジ』

生徒のチャレンジを生み出す日々の授業づくり

⇒チャレンジが教職員の『文化』(日常会話)へ

⇒ 尊い教育の営み

……日本の教育の質を高めるロールモデル

日本の学校教育の精神性と献身性

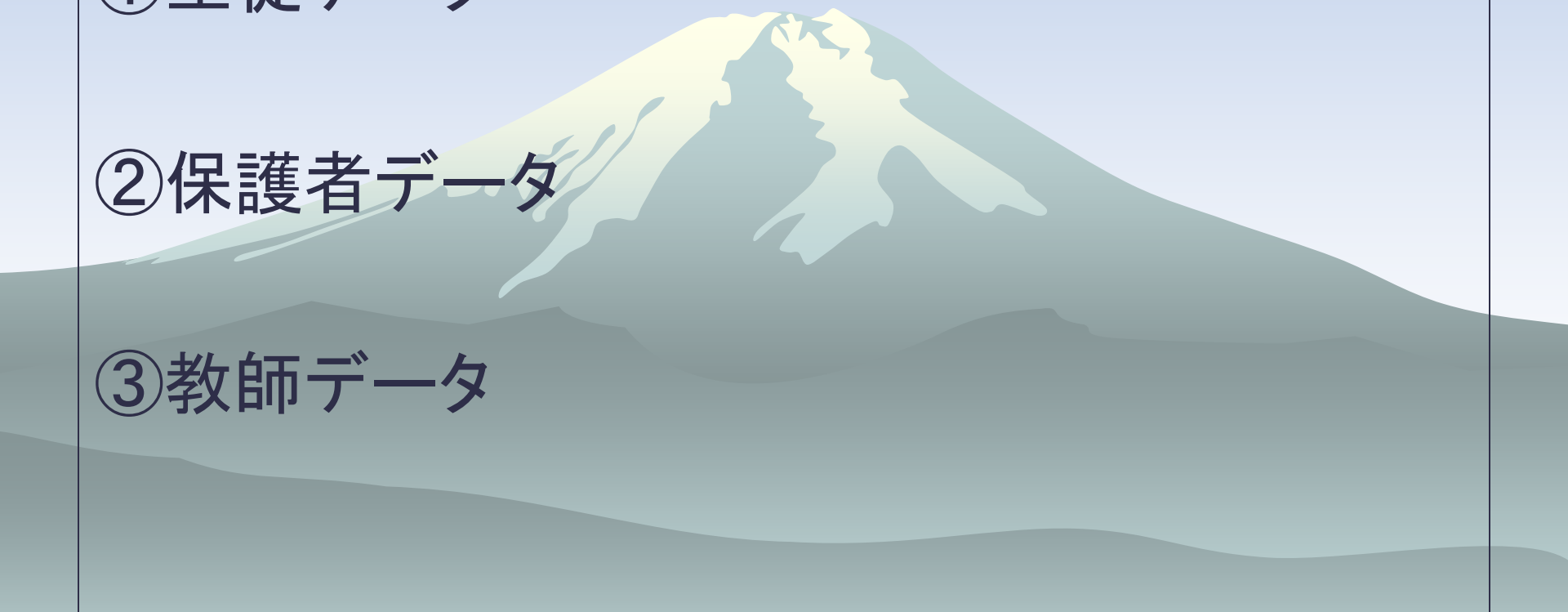
(取り組んでいる人たちは実は無自覚)

データから見る 生徒の変容と今後の展開

①生徒データ

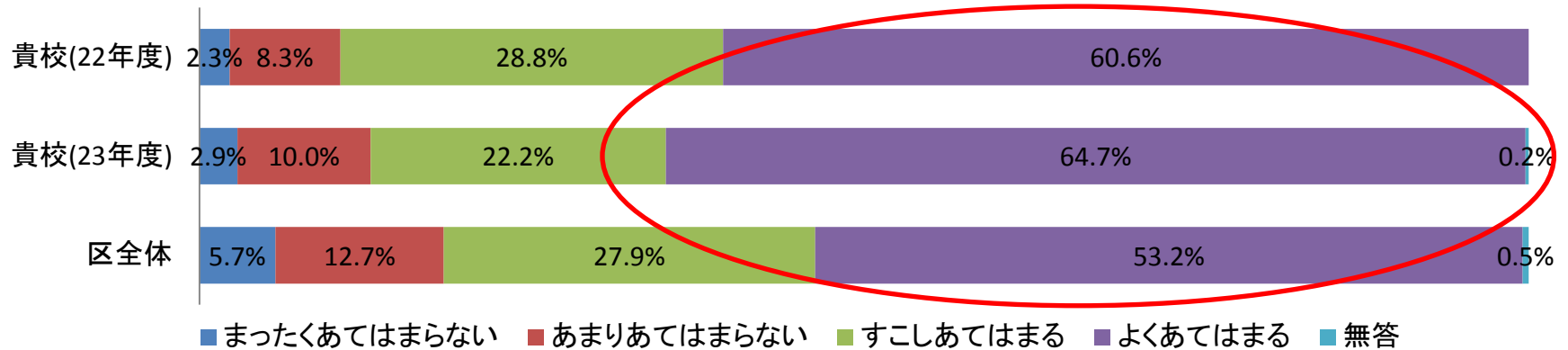
②保護者データ

③教師データ

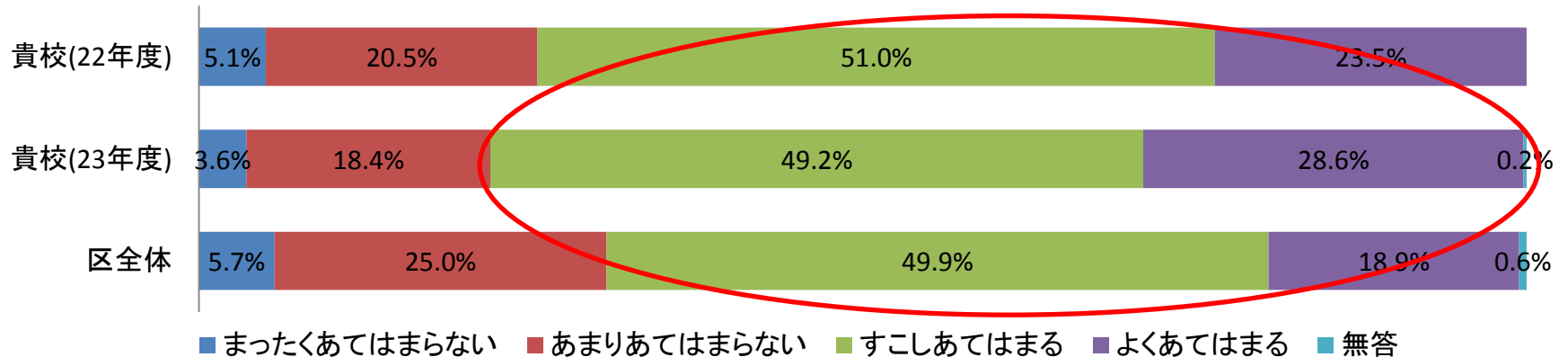


生徒データ①授業への意識

好きな授業, 楽しい授業がある

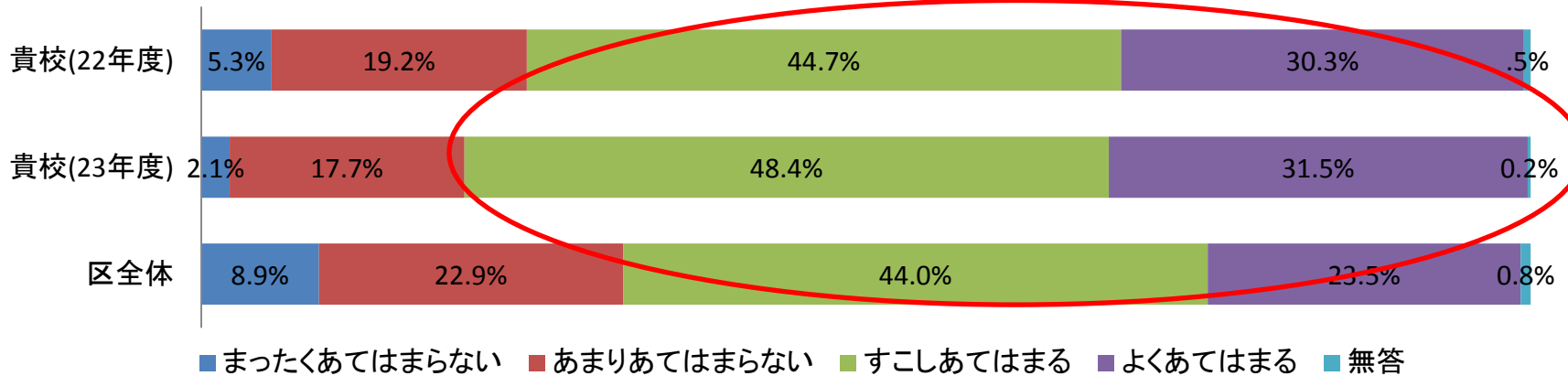


わたしは, 授業を理解できている

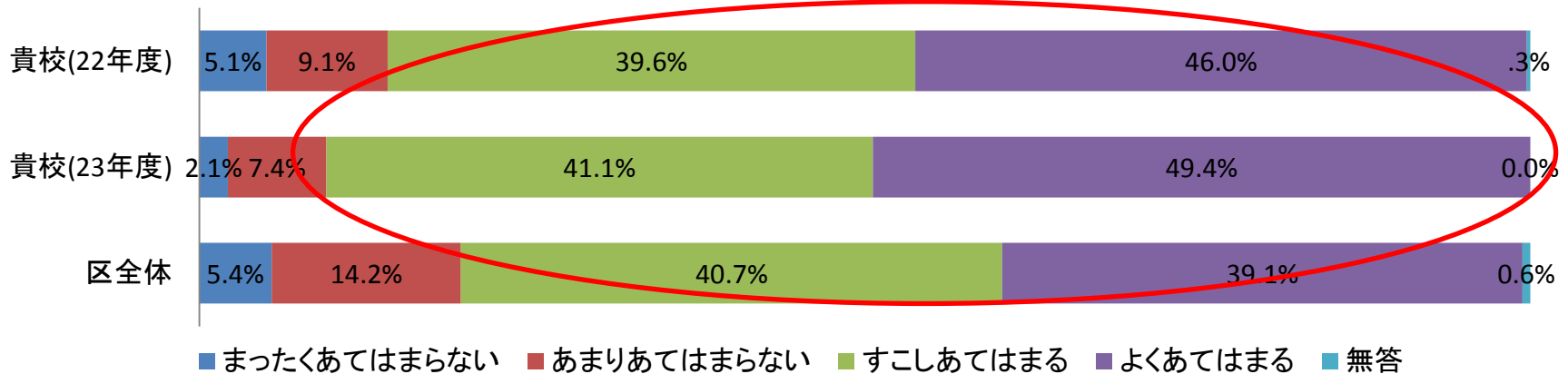


生徒データ②教師への信頼

わたしのクラスの先生は、わたしの気持ちや思いをよく受けとめてくれる

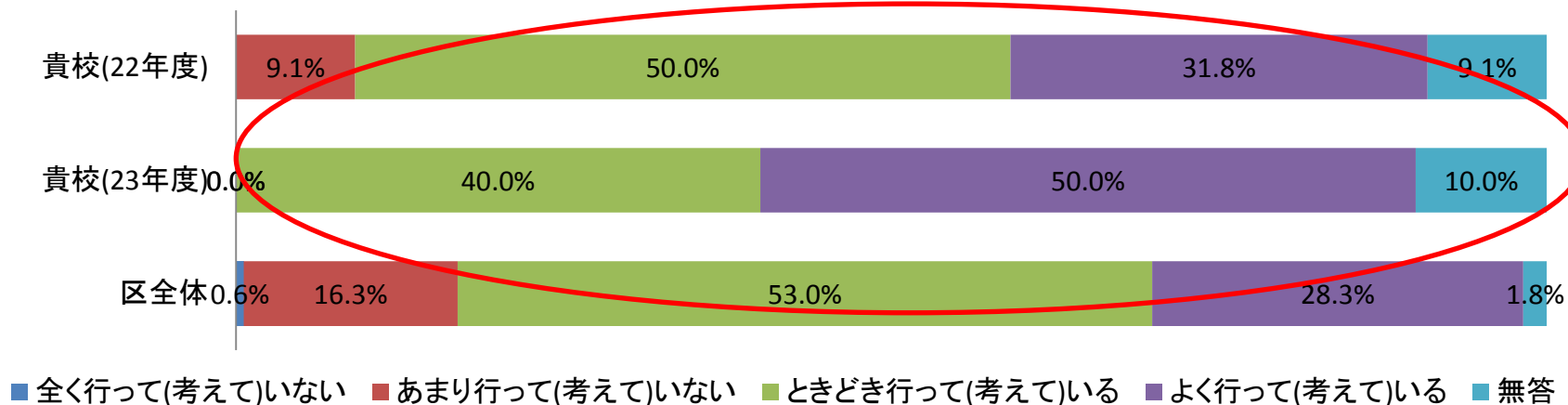


わたしのクラスの先生は、勉強や生活で、きちんと指導してくれる

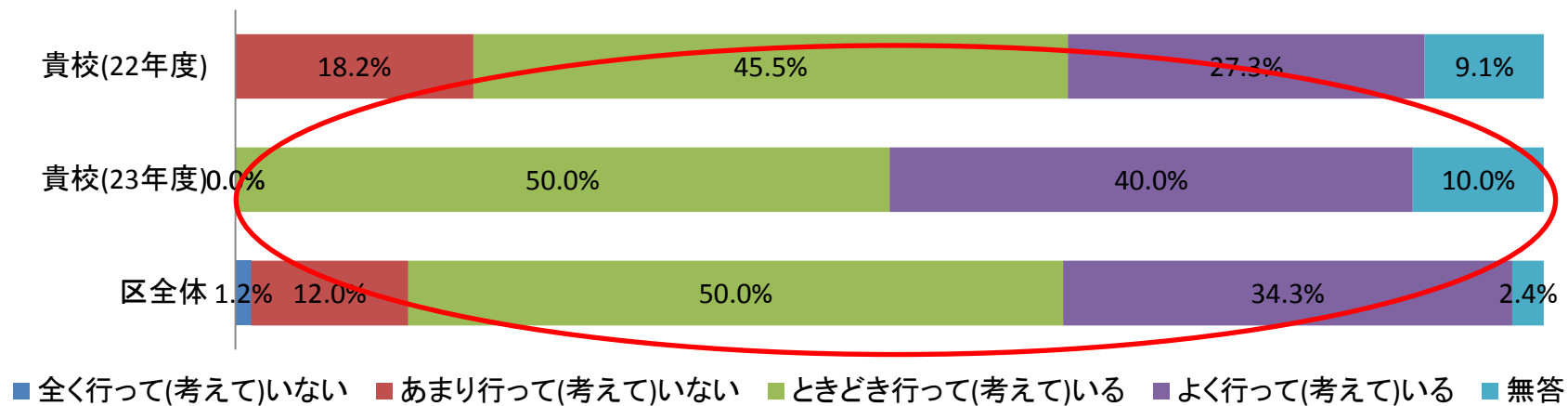


教師データ①目標の明示と共有

私は、学校経営の重点目標を意識して学級経営を行っている

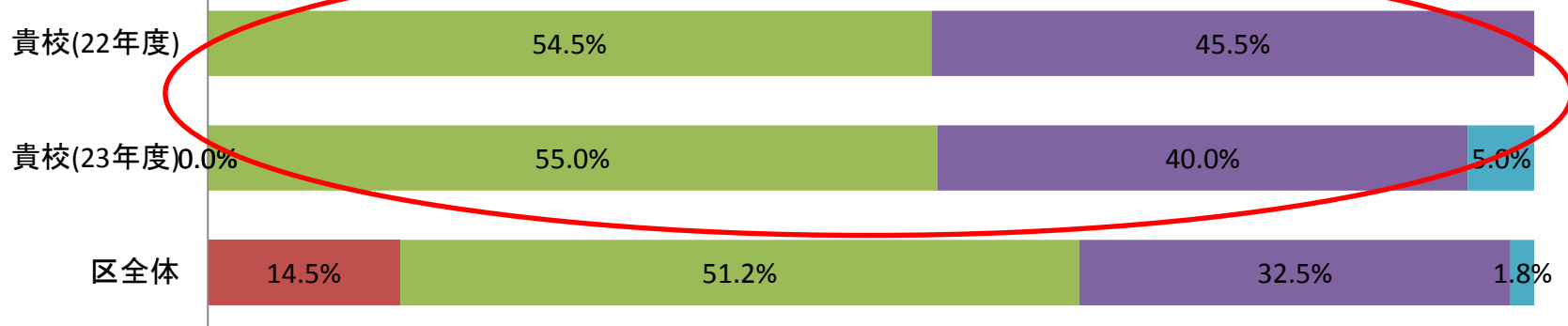


私は、学級の目標を子どもと共有している



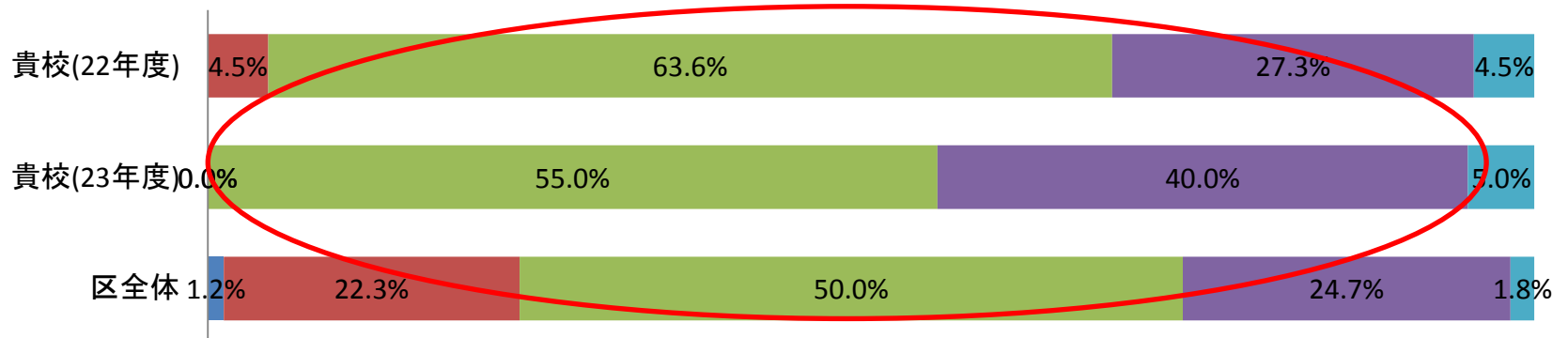
教師データ②授業づくり

個人学習やグループ学習の場を意図的に設定する等、指導方法の工夫を行っている



■ 全く行って(考えて)いない ■ あまり行って(考えて)いない ■ ときどき行って(考えて)いる ■ よく行って(考えて)いる ■ 無答

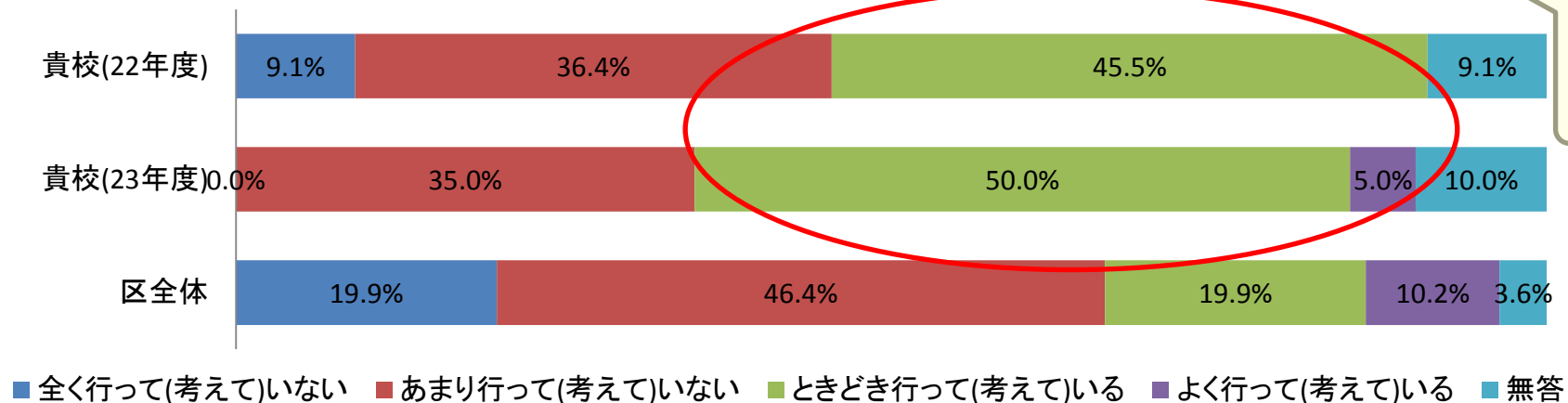
子ども相互の教え合い、学び合いの場を意図的に設定している



■ 全く行って(考えて)いない ■ あまり行って(考えて)いない ■ ときどき行って(考えて)いる ■ よく行って(考えて)いる ■ 無答

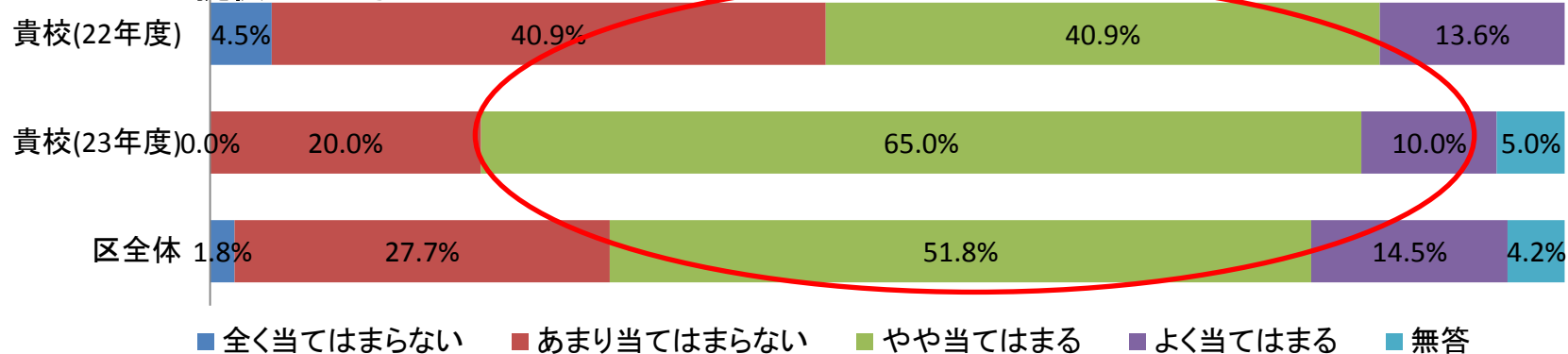
教師データ③保護者への情報提供

学級の子どもの成長の様子を保護者へ伝えている(学級通信等)



担任から

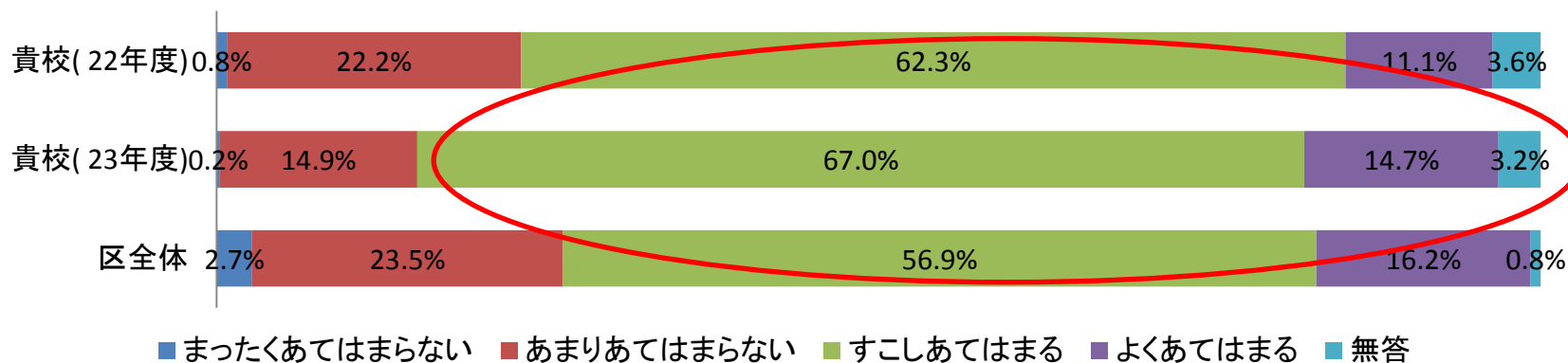
日常の学校の取組や生徒の生活の様子を保護者と共有できるように積極的に情報を提供している



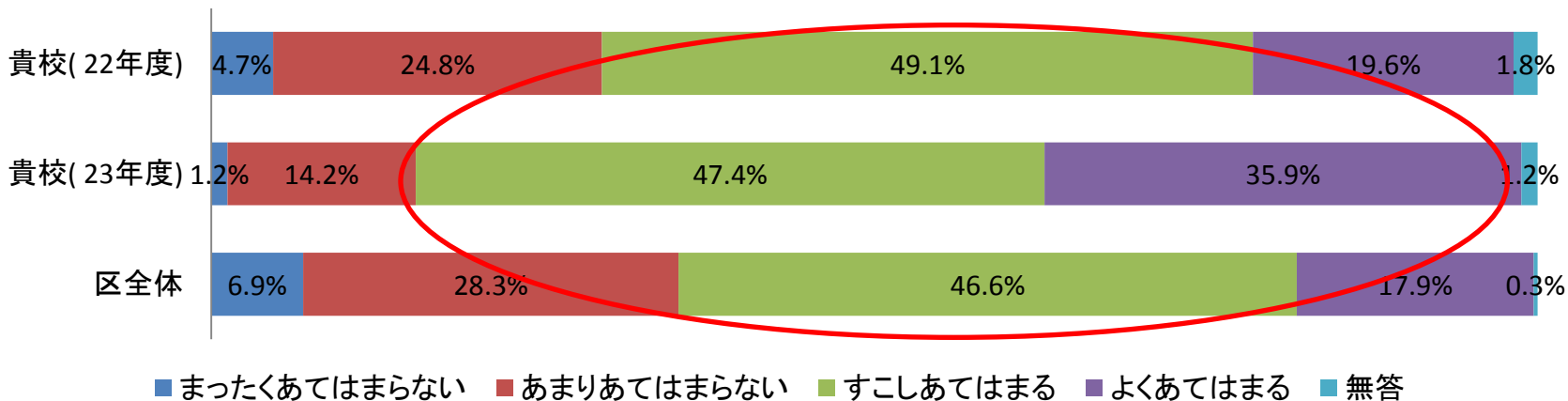
学校から

保護者データ①教師への信頼と期待

この学校の先生は、保護者と一緒になって子どもをよくしていこうとする気持ち強い

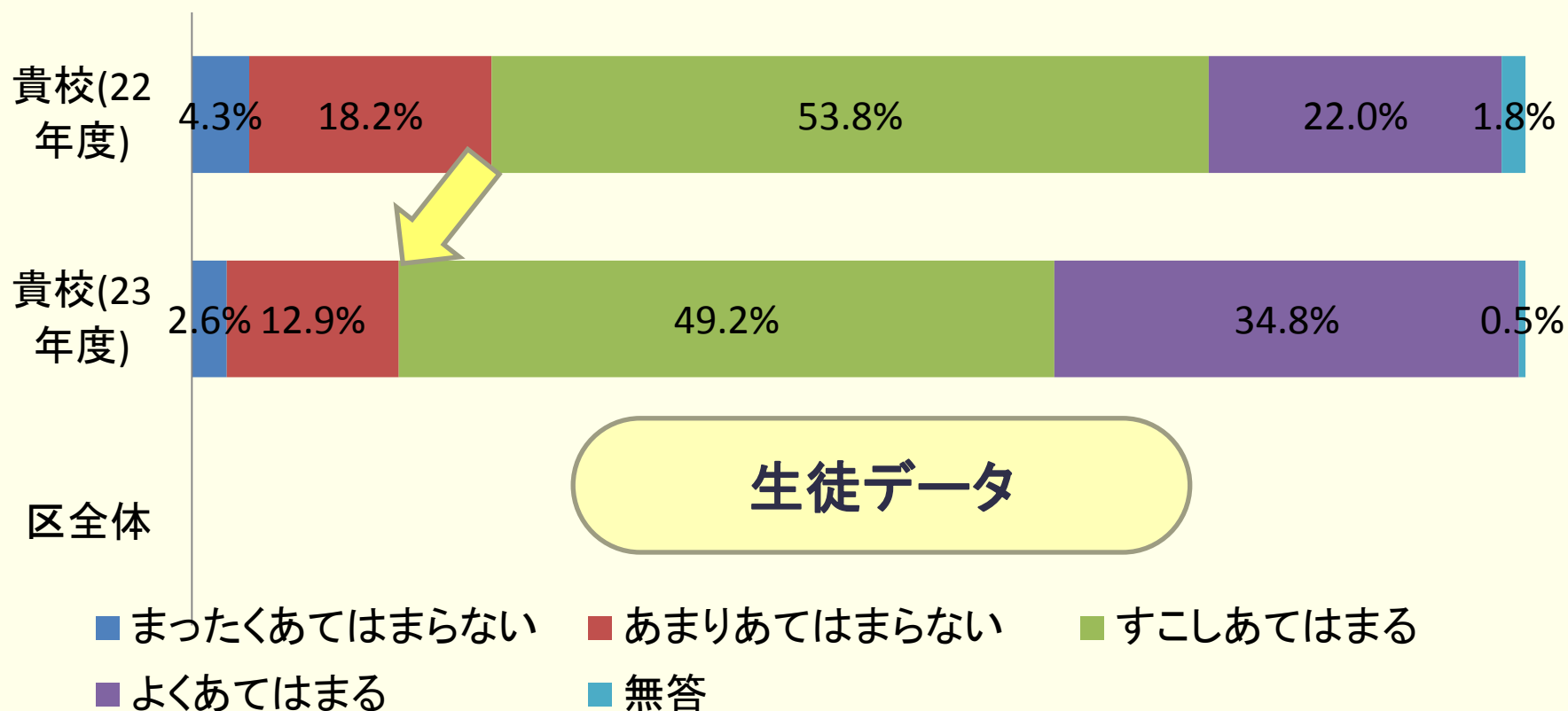


子どもの学力向上に関して、学校に期待している



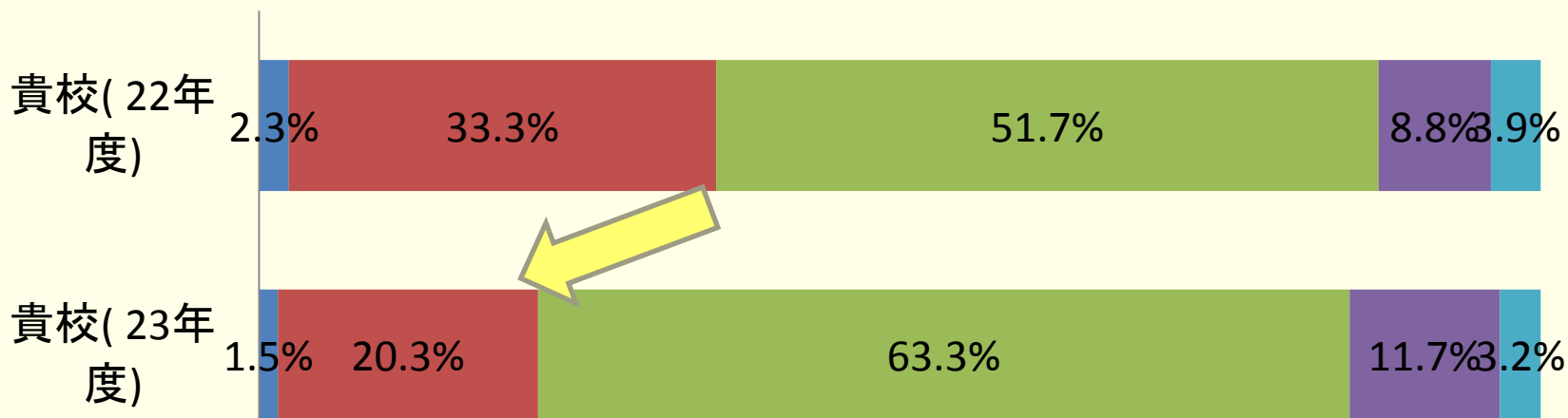
重点目標「チャレンジ！仲間とともに」への接近

学校の重点目標「チャレンジ！仲間とともに」に近づいている
(22;重点目標の近づいている)



重点目標「チャレンジ！仲間とともに」への接近

学校の重点目標「チャレンジ！仲間とともに」に近づいている
(22;重点目標の近づいている)



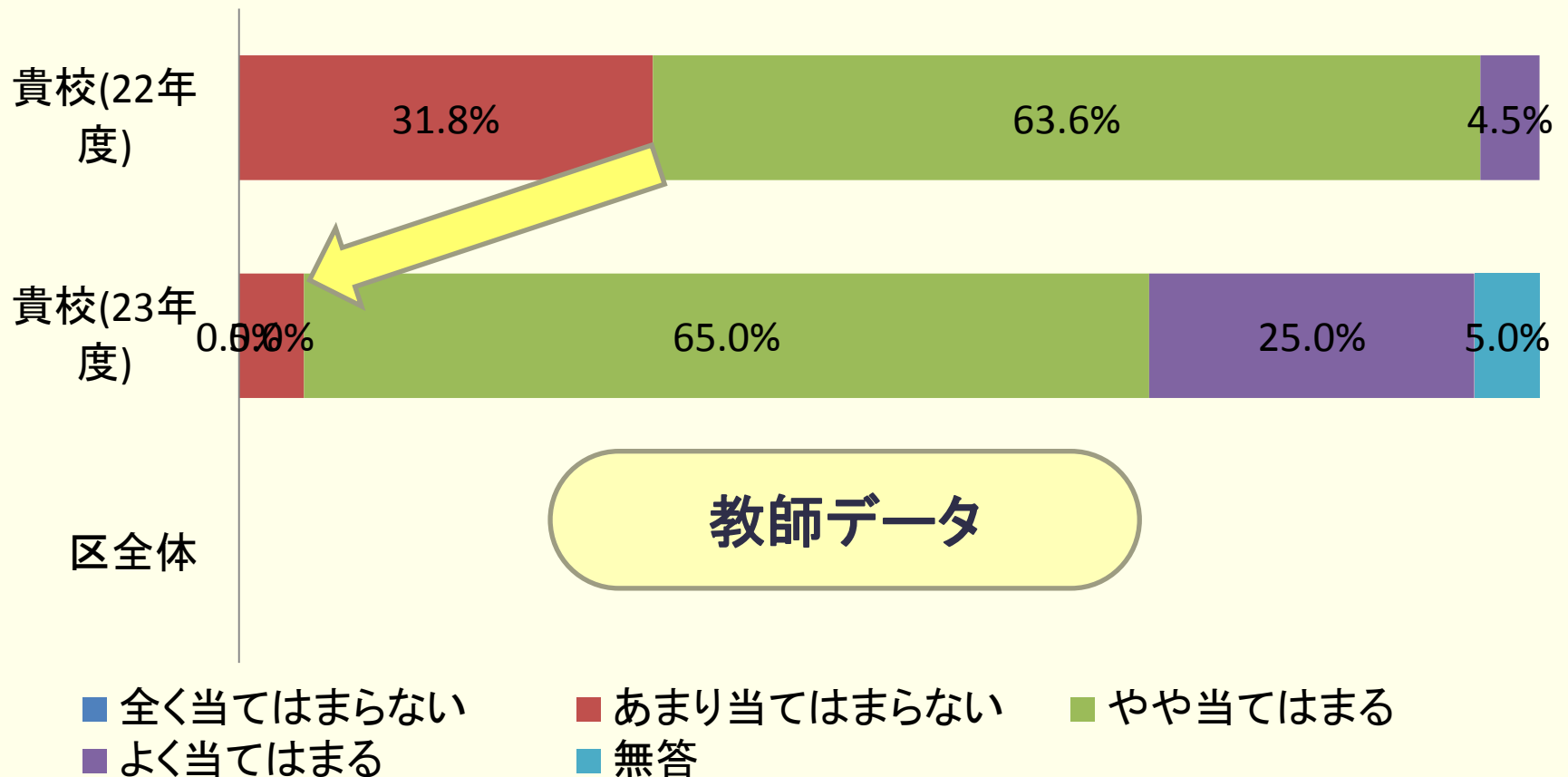
区全体

保護者データ

- まったくあてはまらない
- あまりあてはまらない
- すこしあてはまる
- よくあてはまる
- 無答

重点目標「チャレンジ！仲間とともに」への接近

学校の重点目標「チャレンジ！仲間とともに」に近づいている
(22;重点目標の近づいている)



組織化による教育改善の可能性

個別分散型組織

- ▲優れた実践⇒自己完結型
- ▲個々の悩み⇒抱え込み
- ▲子どもの変容;部分的
- ▲保護者の信頼;部分的

目標共有型組織

- ◎優れた実践⇒共有
- ◎個々の悩み⇒組織的解決
- ◎子どもの変容;全体的
- ◎保護者の信頼;全体的

教職員の子どもの実態に基づく
主体的統合による組織化

組織マネジメントの要素と展開の留意点 ～秋からの教育活動に向けて～

◎目標(ゴール)と取組(プロセス)の共有
⇒ロードマップの共有

◎業務量のマネジメント(労力のバランス調整)

◎タイムマネジメント(無理なく進める時間管理)

◎豊かなコミュニケーションによる支持的文化
の醸成